

Cool Work TOKYO (8月号)

～ 職場における**熱中症予防対策**について情報発信します ～

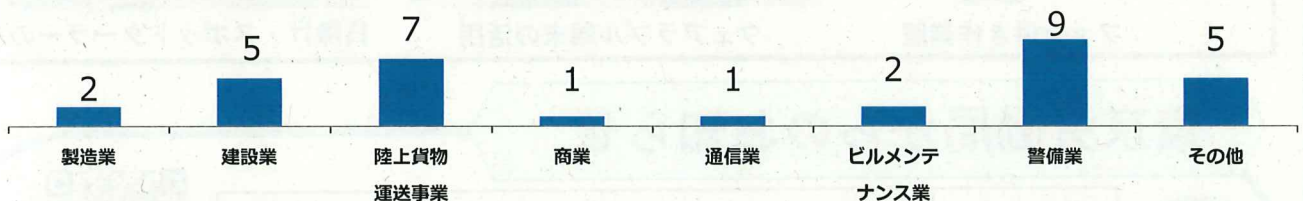
都内の建設現場において、**熱中症による死亡災害が1件発生**しています！

1 令和6年に発生した東京労働局管内の職場における熱中症の発生事例

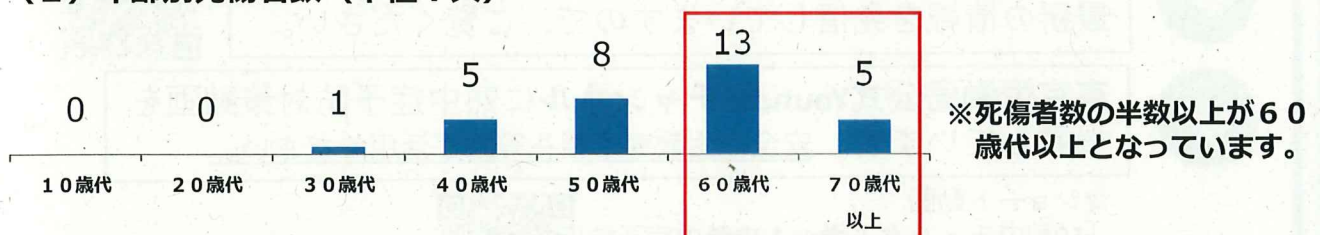
業種	発生月 時間	年齢 経験	発生状況	休業見込 日数等
建設業	7月 15時	50歳代 10年以上20年未満	屋外の工場現場において、鉄筋の圧接作業に従事していたところ、歩行が困難となったため、救急車で病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡したものの。	死亡
警備業	7月 13時	70歳代 10年以上20年未満	交通誘導警備の業務に従事していたところ、めまいがし、縁石の箇所にて休憩していたところ、意識を失い救急搬送されたもの。	6日
陸上貨物 運送業	7月 19時	40歳代 10年以上20年未満	構内において、荷の発送作業に従事していたところ、体調を崩したものの。	4日

2 令和6年の東京労働局管内の職場における熱中症による死傷者数 (7月末日時点の速報値で、休業4日以上のもの)

(1) 業種別死傷者数 (単位：人)



(2) 年齢別死傷者数 (単位：人)



高年齢者は、以下の理由により特に注意が必要となります！

- 1 若年者よりも体内の水分量が減少していること
体内の水分量は若年者が約60%に対し、高年齢者は約50%と言われています。
- 2 感覚機能が低下していること
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。
- 3 体温の調整機能が低下していること
皮膚から逃げる熱が少なくなることで体に熱がたまりやすくなり、循環器系への負担が大きくなります。

また、糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全などの疾病を有する者は、熱中症の発症に影響を及ぼすおそれがありますので、医師等の意見を踏まえた配慮をお願いします。

(汗をかきにくくなり体を効果的に冷やすことが難しくなること、服用している薬の影響等から脱水症状になりやすいこと等があげられます。)

3 令和2年から令和6年までの全国の職場における熱中症による死傷者数
(7月末日時点の速報値で、休業4日以上のもの)

	1月～5月	6月	7月	合計
令和6年	19(0)	40(0)	188(10)	247(10)
令和5年	22(0)	45(0)	148(11)	215(11)
令和4年	18(0)	118(5)	116(8)	252(13)
令和3年	9(1)	26(0)	55(2)	90(3)
令和2年	14(1)	57(0)	22(2)	93(3)

※括弧内は死亡者数

直近5年でみると、本年7月までの死傷者数は2番目の多さとなり、特に7月では最多で、昨年を大きく上回る状況となっています。

PICK UP! こまめな休憩・水分塩分補給・・・その他の取組事例のご紹介



ファン付き作業服



ウェアラブル端末の活用



日除け・スポットクーラーの設置

東京労働局からのお知らせ



東京労働局公式X (旧ツイッター) 開設しました。
最新の情報を発信していますので、ご覧ください。



東京労働局公式Youtubeチャンネルに熱中症予防対策動画を
掲載しています。安全衛生教育や朝礼等にご活用ください。

☆ショート動画

「50秒でチェック!働く人の熱中症予防
チェックポイント編」(50秒)



☆動画

「STOP!熱中症クールワークキャンペーン編」(8分)



9月は全国労働衛生週間準備期間です

スローガン 「推してます みんな笑顔の健康職場」



(令和6年度全国労働衛生週間実施要綱)